

## 男女の記憶・思考について女子が検証

お世話になります。下記、ぜひとも貴媒体にてニュース掲載をお願い致します。

※恐れ入りますが、こちらのニュースを掲載頂ける際は、編集して掲載される場合も、映画『ラブストーリー』にちなんだ、「トーキョー女子映画部」による検証ということを必ず記載頂きますようお願い致します。

やはり脳の作りが違うのか、恋する 2 人の恋愛に関する記憶は、男女で大違い！

「2 人にとって一番大切な場所は？」「初デートの思い出は？」なんて質問をカップルにしてみたら、どれくらいのカップルが同じ答えを言えるだろうか。ちゃんと言葉に出してお互いに確認でもしていない限り、意外に多くのカップルがバラバラの答えを言うのではないだろうか。そんな男女の思考や記憶の違いを映像化した映画『ラブストーリー』は、男女それぞれの視点から同じ出来事をもとに描いた異色の 2 部作だ。今回、映画好き女子達が集うトーキョー女子映画部では、この 2 部作を見比べて、男女の視点の違いを検証。部員が気付いた男女の大きな違いは、下記の 3 つが挙げられる。



★男女の思考や記憶の違いはどんなところに出る？

- 1：男女ともに、自分の都合の良いように、2 人の出来事を記憶している。
- 2：女は口に出さずにいても、男に自分の気持ちを察して欲しいと願う。男は気持ちよりも状況を察して欲しいと女に願う。
- 3：2 人で困難を乗り越えようとするとき、男は日常を送りながら年月を経て傷を癒そうと考える。女は状況を変えてゼロからやり直したがる。

もちろん、ここで描かれる男の視点がそのまま世の男性全員に当てはまるものでもなければ、女についても同じことが言える。実際にこの映画を鑑賞した女子の座談会でも、「私は男性の視点の方がより共感できた」という声もあった。そういった感覚の違いは

あるとして、やはり同じ経験をした2人の視点に違いがあることは否めない。また『ラブストーリーズ』は映画でありフィクションだが、シチュエーションは違えど、実際の恋愛によくあることだと思える内容になっている。

上記を踏まえた上で本作を観たとしても、記憶違いという部分においては、服の色すら違っていたり、言葉の内容すらバラバラ。如実に表れていたのは、「愛している」というセリフだが、お互いに相手が自分に言った言葉だという記憶で描かれている。共通して言えるのは、「愛されたい」「大事にして欲しい」「許して欲しい」という思いが、それぞれの記憶や思考に影響していることだ。

一度本作を鑑賞して自分の恋愛を振り返り、もし今交際中（もしくは夫婦関係）にある相手がいて、関係がギクシャクしていたら、視点を変えてみるきっかけにはいかがだろうか？とにかく、こういった男女の考え方、捉え方の違いを知っておくことは今後の恋愛にとって有効だと言える。

■ トーキョー女子映画部によるアンケート全容：

[http://www.tst-movie.jp/ev01/ev66\\_150821001.html](http://www.tst-movie.jp/ev01/ev66_150821001.html)

『ラブストーリーズ コナーの涙』『ラブストーリーズ エリナーの愛情』

9月4日 DVD レンタル開始（上記2作品個別レンタル）

『ラブストーリーズ』

8月28日3枚組DVD発売 ※上記の写真はセルDVD用ジャケットです。

<http://www.maxam.jp/products/detail/461/>

©2013 Disappearance of Eleanor Rigby, LLC. All Rights Reserved



トーキョー女子映画部サイト <http://www.tst-movie.jp>

【お問い合わせ先】 トーキョー女子映画部（株式会社TS トーキョー）

お問い合わせフォーム：<https://www.tst-movie.jp/corp.html#otoiawase>